

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No.15-006

PDCA	事務事業名	亀崎地域総合福祉センター 運営事業	部課等名	福祉部 地域福祉課 地域福祉担当	担当	榊原沙恵	
					内線等	346	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち 節： 第2節 地域福祉の推進 基本施策： 2. 高齢者福祉 単位施策： (2) 高齢者生きがいつくりの推進 個別施策： ①地域社会への参加の促進					
	根拠法令等	半田市亀崎地域総合福祉センター条例					
	対象・目的	地域住民が快適に利用できる施設づくりを行うことで、介護予防や地域づくりに寄与する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	自治区や各種ボランティアなどとの協働による様々な活動の展開が期待できること、地域住民の支持を受けやすいことから、地元コミュニティへ運営を委託する。市は利用者が安心して利用できるよう施設の管理を行う。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①利用者向けイベント等事業実施回数	141	110	104	回	
		②開館日数	287	285	259	日	
		③					
		事業費	10,961	12,112	9,523	千円	
		人件費	1,142	1,562	1,863	千円	
		総事業費	12,103	13,673	11,386	千円	
	活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位		
	①開館1日あたりのコスト	42	48	44	千円		
	②						
③							
成果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位		
	①年間延べ利用者数	実績値	80,616	77,711	103,329	人	
		目標値	100,000	90,000	80,000		
	②	実績値					
		目標値					
	③	実績値					
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 中程度	⑦コスト削減余地 ない			
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	※対象・手段の変更			
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 ない				
	事業の評価・課題	B					
		亀崎地域総合福祉センターの運営を委託する亀崎地区コミュニティ推進協議会や地域の方たちと連携し、介護予防等の高齢者向けの企画を積極的に実施し、亀崎地域における福祉向上に資することができた。施設の老朽化を考慮して、定期点検だけでなく日常点検を確実にし、不具合箇所等があれば早急に対応し、地域の方たちが安全安心して利用することができるよう取り組んだ。					
		改善推進					
高齢者の交流・活動の拠点として、利用者のニーズや現状を把握し、適正な管理・運営を図る。本施設は、改築後27年経過しており、施設の老朽化が進んでいるため、設備等の維持管理に取り組むとともに、将来的な施設のあり方を検討する必要がある。							
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	高齢者の交流・活動の拠点として、利用者のニーズや現状を把握し、適正な管理・運営を図る。本施設は、改築後27年経過しており、施設の老朽化が進んでいるため、設備等の維持管理に取り組むとともに、将来的な施設のあり方を検討する必要がある。					
	令和2年度の目標	成果指標			目標値	単位	
		①年間延べ利用者数			80,000	人	